

令和6年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
1	社会教育課	文化財保護事業	市域に残された文化財を後世まで永く伝えるとともに市民が文化財への理解を深めるための一助とする。	市指定文化財「けやき」の樹木剪定への補助金交付:危機管理上、支障枝の伐採に伴い事業費を補助 福岡河岸記念館・旧大井村役場活用事業:福岡河岸記念館4回開催38人参加、旧大井村役場3回開催 31人参加 やさしい日本語まちなみツアーガイド:4月と11月に参加者を募集しツアーガイドを実施。事業への参加者増をめざした広報方法などについて研修会の開催、外国人とガイドと交流の場としてのにはんごカフェの開催など	15,931	民俗芸能調査及び民俗文化財の保存事業補助団体件数(件)	6	5	継続
						社会教育事業参加者数(体験学習・見学会等の参加者数)(人)	190	188	
						市民との協働事業の開催回数(回)	44	42	
2	社会教育課	埋蔵文化財調査事業	市域に残る埋蔵文化財の記録保存を行う。遺跡情報システムを運用することにより、市民への普及及び窓口業務等に活用する。	1 埋蔵文化財包蔵地照会対応、発掘調査を実施した。 調査の流れや手続きについて明記したチラシを作成し、窓口で配布した。 2 調査報告書『市内遺跡群29』を刊行した。 3 最新出土品展を開催した。 4 遺跡情報システムの情報更新(発掘調査測量図の更新、指定文化財情報の追加)を行った。 5 遺跡地図の有償頒布を行った。 6 学習用遺物貸出しキットの活用を行った。	32,560	開発に伴う周知の埋蔵文化財包蔵地への照会件数(件)	1,200	1,615	継続
						本調査・試掘・立会い件数(件)	50	90	
						市内遺跡・文化財情報システムへのアクセス数(回)	12,500	48,136	
3	社会教育課	権現山古墳群保存管理事業	平成14年3月に作成した権現山墳墓群保存管理計画に基づき、埼玉県指定史跡権現山古墳群の保全及び活用を図る。	1 管理計画に基づき、敷地内の伐採・剪定作業を実施。 2 敷地内の園路修繕を実施。 3 地域住民、市民ボランティア団体「権現山くらぶ」、「ふじみ野こどもエコクラブ」、資料館文化財ボランティアなどと協働し清掃活動の実施や落ち葉掃きを実施。 4 権現山古墳群に親しんでいただくため子ども対象「夏休み権現山探検」「自然観察会」等を実施。	10,117	見学会開催及び団体見学(回)	3	2	継続
4	社会教育課	民間開発発掘調査事業	市域の開発工事に先立ち、埋蔵文化財の調査を実施することにより、文化財の記録保存を行う。	令和7年3月31日現在、令和6年度提出された事前協議書110件、発掘届出114件の内、民間開発発掘調査を実施したのは4件だった。	5,459	民間開発発掘調査・整理の件数(件)	2	4	継続
5	上福岡歴史民俗資料館	歴史民俗資料館管理運営事業	市民の郷土に関する教育、学術・文化の発展に寄与するため、旧上福岡地域の歴史、民俗を紹介することを通して、先人たちが育んできた数多くの郷土の文化遺産を収集・保存すると共に、これらの資料を多くの市民に知ってもらうよう展示公開するための施設整備、維持管理を行う。	資料館事業に市民や小中学校の意見を反映させるため資料館運営協議会を開催した。来館者の安全安心の観点から、良好な利用環境を整備するために資料館施設管理を包括管理業者と連携を図りながら実施した。	10,689	入館者の拡大(人)	4,750	4,180	継続

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
6	上福岡歴史民俗資料館	歴史民俗資料館教育普及事業	市民から寄贈された貴重な文化遺産を保存し、地域の特徴を意識した資料収集を行い、資料の調査研究の成果を常設展示及び特別展・企画展、学習講座を実施することにより、紹介、活用する。また必要に応じて成果の一部を図録等の刊行物にまとめて展示成果の追体験が行えるようにする。	市の歴史・民俗のなかでも、新河岸川を展示主題においた常設展示を行うとともに、テーマを設けて、実物資料や写真パネルなどで構成する特別展・企画展等を開催することで、これまでの調査研究の成果を紹介した。また、市民対象の学習講座・体験学習等の実施及び市民から提供された貴重な資料の収集整理を実施した。	10,680	記念館を含めた展示会の回数(回)	26	21	継続
						市民との協働事業の開催回数(回)	11	16	
						歴史文化に係る学習講座への参加人数(人)	530	983	
7	上福岡歴史民俗資料館	文化財展示室設置・活用事業	上福岡歴史民俗資料館や大井郷土資料館などで収集・保存してきた歴史資料は、地域にとって貴重な文化財である。そうした文化財を活用して、ふじみ野市、学校、地域住民が協働しながら、郷土ふじみ野を理解し郷土を愛する市民の育成をはかる。	令和5年度から開始したさぎの森小展示室の復旧作業が令和6年度に完了した。また、既存の3校においては引き続き活用を進めた。	3,782	文化財展示室設置作業及び活用回数(回)	3	5	継続
						ボランティア参加人数(人)	50	6	
8	大井郷土資料館	郷土資料館管理運営事業	資料館を通して、地域の歴史に密接した資料を収集・保存し、多くの市民に展示公開する。	大井郷土資料館については、老朽化が進んでいるため、令和6年度は例年に増して定期的に目視による日常点検を行った。加えて、令和5年度から導入した包括管理業者の担当者と職員によって緊急時における対応を行い、施設の保全に努めた。また、旧商工会館に移転した収蔵資料の保管を引き続き実施した。 旧大井村役場については、令和5年10月から郷土の教育普及活動の拠点として建物内の一般公開を開始し、委託における受付業務を開始した。令和6年度も引き続き同様の体制で一般公開を行い、その他、職員や包括管理業者によって緊急時における対応を行い、文化財建造物の保全に努めた。	55,426	入館者数の増加(人)	8,200	1,128	継続
9	大井郷土資料館	収蔵資料整理事務	郷土の歴史に関わる資料を収集し、それを展示等の教育普及事業でも活用できるように整理していく。	令和6年度は、令和5年度に旧商工会館へ移動した旧大井郷土資料館の収蔵資料の整理・登録作業を実施した。	10,711	収蔵資料のデータベース化(点)	750	245	継続
10	大井郷土資料館	郷土資料館教育普及事業	地域に関連した収集資料を基に事業展開し、市民に展示すると共に、子どもには体験を通して郷土に対する理解・関心を深めてもらう。	展示は特別展「大井中学校150年のあゆみ ～ふじみ野の近代教育のはじまり～」、「最新出土品展」、「昔のくらしと昔の学校展」を開催した。また、一般向け学習講座「古文書講座」を開催し、小学校3・4年生を対象とした社会科体験学習では、出前授業を6校実施した。 旧大井村役場においては、資料館文化財ボランティアの連絡会議を開催し、ボランティアの育成と協働した活動を行った。	9,294	展示会への来場者数(人)	5,300	1,128	継続
						歴史文化に係る学習講座への参加人数(人)	850	85	
						市民との協働事業の開催回数(回)	15	13	

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
11	福岡河岸記念館	福岡河岸記念館管理運営事業	明治期に建築され、当時の商家形態がうかがわれる建築範例として貴重な建物であるため、市有形文化財として指定を受けた建物を市民に公開し、歴史や文化を知ってもらおう。	例年展開している落語などの特別講座を3回、その他子ども対象事業やフォト・絵画コンテスト、季節展示を開催し、市内外からの来館者の増加を図った。また、年間で特別公開を12回、無料公開を2回実施した。当館主催事業のほか、文化・スポーツ振興課のコンサートの会場として協力した。また、地域と一体となった取り組みを充実するため、地域で実施されている「福岡河岸まつり」にて、特別公開を実施した。	13,850	入館者数(人)	3,200	2,296	継続
						特別公開・特別講座・イベント等の開催による入館者の増(人)	800	686	